

都市再生整備計画(第2回変更)

ながすにし
長洲西地区

くまもと 熊本県 ながすまち 長洲町

平成30年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	熊本県	市町村名	ながすまち 長洲町	地区名	ながす、にし 長洲西地区	面積	940 ha
計画期間	平成26年度	～	平成30年度	交付期間	平成26年度	～	平成30年度

目標

大目標

有明海と人、自然、観光、文化が織り成す「みなとまち」づくり

目標1

長洲港周辺の賑わいを創出し、人が集まる賑わいの場の形成を図る

目標2

地域資源を活かした「みなとまち」らしい景観を楽しめる場等の創出を図る

目標3

地域住民が楽しみ、憩い、健康的なみなとまちづくりを推進する

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・長洲町は、昭和32年に旧長洲町と旧腹栄村が合併し、長洲町が誕生してから50年以上が経過しており、豊かな自然環境と恵まれた立地条件を活かし、社会基盤の整備や福祉サービスの増進など、住みよいまちづくりを推進している。

・昭和39年には、新産業都市の指定を受け、臨海部の埋め立てによる工業団地造成を進め、造船、サッシ産業等を中心に大型企業が立地している。

・長洲町の重要な産業である水産業については、海苔養殖業や金魚養殖等が柱であり、特に金魚産業は全国的に有名であり、金魚に関する各種イベントや交流施設である「金魚と鯉の郷」の整備を行い、長洲町の商品ブランドを広めている。

・長洲町の海の玄関口である長洲港は、臨海部に大型企業が立地し、長崎県と熊本県を結ぶ有明フェリーも運行しており、アクセス性も国道501号線と接続し、九州の真ん中に位置する地理的要因も含め、交通アクセスの要所として多くの人が利用している。

・都市計画街路長洲・玉名線の整備や港機能を高める長洲港湾整備が進められており、その整備に伴い地域の賑わい創出や魅力づくりが求められている。

・今後有明海沿岸道路等の広域プロジェクトに運動した町の活性化を図ることが求められている。

課題

① 長洲町の産業と連携した港周辺整備促進

工業・商業・農業・水産業等の連携強化を図り、交流拠点として長洲港周辺を活性化させる必要がある。

② 臨海部の基盤整備とフェリー周辺環境整備促進

長洲町は臨海部に多くの企業が進出しており、臨海部の工業地でのポテンシャルは高いため、基盤整備とともに港のフェリーや周辺環境の利用促進を図る必要がある。

③ 長洲港を起点とした交流人口の増加推進

九州新幹線の開通による九州縦軸と横軸の連携（新玉名駅と長洲港の接続）による交流人口の増加や地域活性化に活かしていくことが必要である。

④ 広域観光へ長洲港の役割強化推進

県境連携観光推進協議会の動向を注視しつつ、熊本県と長崎県との広域観光ルート確立のための長洲港の役割を強化していく必要がある。

将来ビジョン（中長期）

・第5次長洲町総合振興計画（平成23年3月）では、「快適な暮らしができる安心のあるまち」としてJR九州や有明フェリーなど町内外の公共交通を活かし、近隣市町をはじめ他の地域の観光資源と長洲町の観光資源をつなぐ広域観光ルートの確立に向けた観光振興に取り組むとしている。また、的ばかい、のしこら祭、金魚と鯉の郷まつりなど町及び各主体で行われるイベントを継続して推進・支援し、長洲町商工会、企業、生産者などの活動に係る地域資源を魅力ある観光資源として連携・発掘し、町外からの観光客の招致に努め、賑わいのあるまちづくりに取組む。

・長洲都市計画区域マスタープラン（平成24年3月）では、『長洲港周辺を交流拠点として位置付け、周辺道路網の充実を図り、効率的で機能的な交通結節点の形成を促進する』こととしている。道路網の整備にあたっては、『自動車や歩行者の安全な通行に配慮した幹線道路や生活道路』の適正配置に努めるものとしている。

・有明海フェリー航路地域公共交通総合連携計画(素案)（平成22年3月）では、広域観光ルートの造成（大分・熊本・長崎の中九州観光軸の形成）、サイクルアイランドの促進（通勤客等の前後の自動車利用から自転車利用への転換）、観光情報等の発信や案内誘導の充実、地域住民レベルのスポーツ及び文化活動による交流イベント事業の開催があげられている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
（目標1に対応する指標） フェリー利用者数	（人／年）	有明フェリーの年間利用者数	長洲港周辺の賑わいを創出するために、長洲港周辺の整備を行うことで、長洲港とその周辺の魅力を向上し、まちへの来訪者を増加させるとともに、フェリーの利用者を増加させる。	851,305	平成24年度	868,000	平成30年度
（目標2に対応する指標） 観光交流センターの利用者数	（人／年）	観光交流センター（新規）の利用者数	長洲港周辺から金魚と鯉の郷広場へのアクセス強化を図るとともに、当該施設内の金魚の館などに新たに観光交流センター機能を整備する。地域住民及び、通行車やフェリー等の利用者（観光客やビジネスマン、ツアー客等）等の広域の顧客をターゲットとする水産資源等を活用した観光施設としての機能向上を図ることで、交流人口を増加させる。	196,418	平成28年度	208,000	平成30年度
（目標3に対応する指標） 金魚と鯉の郷広場の利用者数	（人／年）	金魚と鯉の郷広場の年間利用者数	地域住民が楽しみ、憩い、健康的なみなとまちづくりを推進し、また、回遊性に富んだまちの形成を図るために、街路の整備や公園内の環境整備を行うことで、金魚と鯉の郷広場の利用者数を増加させる。	204,233	平成24年度	306,000	平成30年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1(港・フェリー乗り場周辺整備プロジェクト) ・情報板(案内板等)の環境整備を行い、地元住民やフェリー利用者等の回遊性の向上を図る。		・「地域生活基盤施設」基幹／情報板(サイン等整備事業)
整備方針2(海辺で楽しむ観光交流センターの整備プロジェクト) ・長洲港周辺から「金魚と鯉の郷広場」にかけて新たな町の交流拠点として観光交流センターの機能の向上を図り、交流人口を増加させる。 ・長洲町の水産資源特産品等を活用した料理により、地域活性化のPR活動を行う。		・「高次都市施設」基幹／観光交流センター ・「地域創造支援事業」提案／水産関連施設整備(観光交流センター)
整備方針3(海辺を歩いて楽しむ散歩道整備プロジェクト) ・街路や公園内にトイレ・ベンチ等の環境整備を行い、地元住民等の憩い空間の整備を行う。 ・情報板(案内板等)、緑化施設(街路灯等)の設置・改良を行い、散歩道の機能向上を図る。		・「公園事業」基幹／金魚と鯉の郷広場内トイレ・ベンチ等整備事業 ・「地域生活基盤施設」基幹／情報板(サイン等整備事業) ・「地域生活基盤施設」基幹／緑化施設等(街路灯整備事業)
その他		

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	113.6	交付限度額	45.4	国費率	0.4
---------	-------	-------	------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付対象事業費		費用便益比B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路														—
道路														—
道路														—
道路														—
公園														—
古都保存・緑地保全等事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	広場	金魚と鯉の郷広場内トイレ・ベンチ等整備事業	長洲町	直	A=73,653.9㎡	H26	H28	H26	H28	59.0	59.0	59.0		59.0
	サイン等整備事業	情報板(長洲海岸エリア)	長洲町	直	n=2	H30	H30	H30	H30	4.0	4.0	4.0		4.0
	サイン等整備事業	情報板(新郷エリア)	長洲町	直	n=1	H29	H29	H29	H29	2.0	2.0	2.0		2.0
高質空間形成施設	街路灯整備事業	緑化施設等(新郷エリア)	長洲町	直	n=50	H26	H30	H26	H30	14.9	14.9	14.9		14.9
	街路灯整備事業	緑化施設等(姫ヶ浦・名石浜エリア)	長洲町	直	n=98	H29	H30	H29	H30	15.5	15.5	15.5		15.5
高次都市施設	観光交流センター	金魚の館	長洲町	直	A=90.0㎡	H30	H30	H30	H30	10.0	10.0	10.0		10.0
中心拠点誘導施設														
連携生活拠点誘導施設														
生活拠点誘導施設														—
高齢者交流拠点誘導施設														
既存建造物活用事業(高次都市施設)														—
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										105.4	105.4	105.4	0.0	105.4 1.7

...A

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業	観光交流センター	金魚の館	長洲町	直	A=279.0㎡	H30	H30	H30	H30	7.0	7.0	7.0	7.0
事業活用調査	事業効果分析調査		長洲町	直		H30	H30	H30	H30	1.2	1.2	1.2	1.2
まちづくり活動推進事業													
合計										8.2	8.2	8.2	8.2
												合計(A+B)	113.6

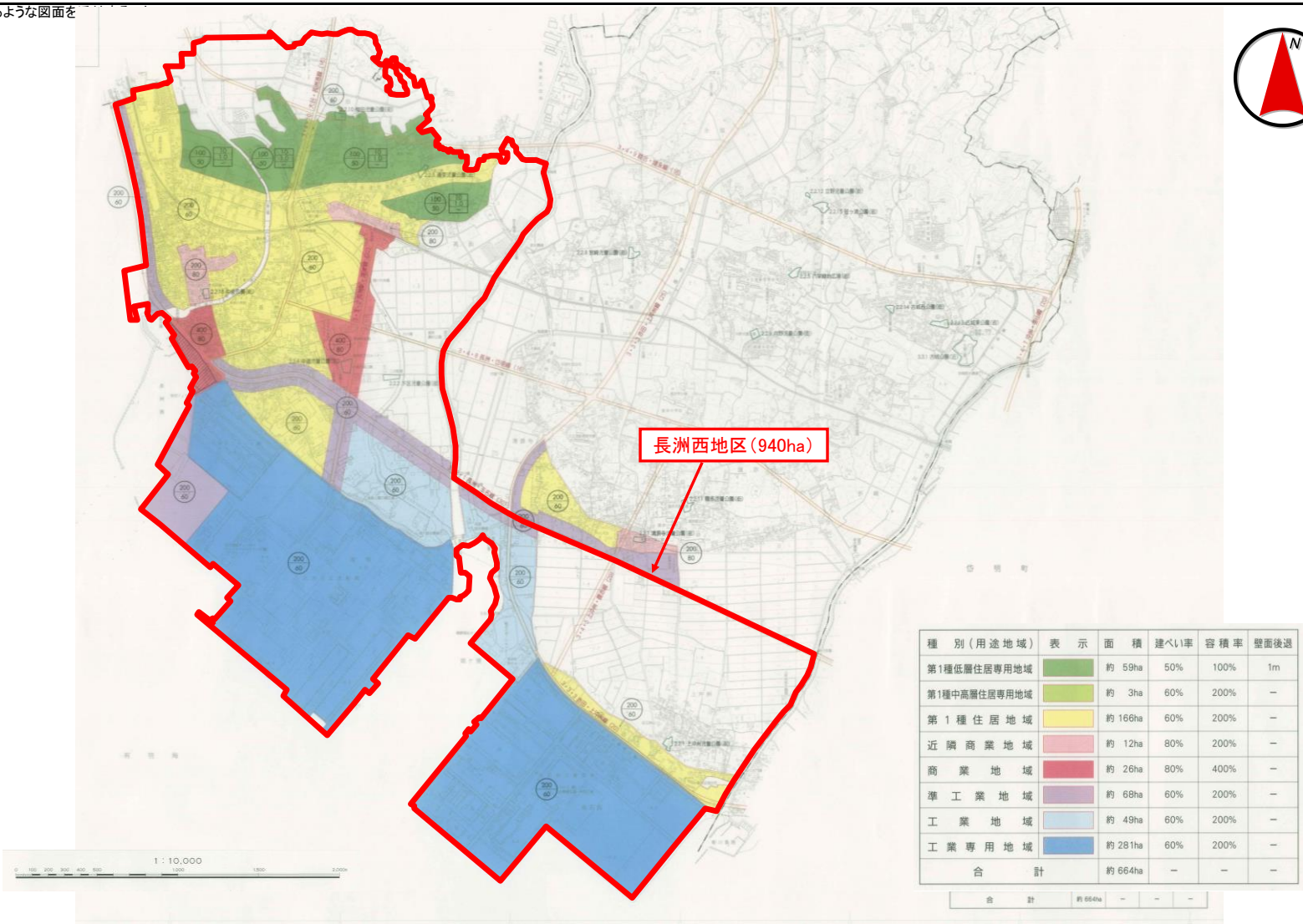
...B

[illegible]

都市再生整備計画の区域

長洲西地区(熊本県長洲町)	面積	940 ha	区域	長洲、梅田、高浜、上沖洲、名石浜、清原寺、腹赤の各一部
---------------	----	--------	----	-----------------------------

※ 計画区域が分かるような図面を



ながす にし くまもと ながすまち
長洲西地区(熊本県長洲町) 整備方針概要図

目標	大目標 有明海と人、自然、観光、文化が織り成す「みなとまち」づくり	代表的な指標	フェリー利用者数 (人/年)	851,305 (H24年度)	→	868,000 (H30年度)
	目標1 長洲港周辺の賑わいを創出し、人が集まる賑わいの場の形成を図る		観光交流センターの利用者数 (人/年)	0 (H26年度)	→	208,000 (H30年度)
	目標2 地域資源を活かした「みなとまち」らしい景観を楽しめる場等の創出を図る 目標3 地域住民が楽しみ、憩い、健康的なみなとまちづくりを推進する		金魚と鯉の郷広場の利用者数 (人/年)	204,233 (H24年度)	→	306,000 (H30年度)

